

新型コロナワクチン接種は医療のひっ迫を防ぎ、そして、多くの命を救います。

接種を希望される方は、できるだけ早めに予約をお願いします

～新型コロナワクチン接種の不安を解消しよう～

Q 何年も経ってから副反応が出る可能性はありますか？

A 一般的に、ワクチンの副反応はほとんどが接種をしてから6週間程度までに起こることが知られています。ワクチンは遺伝子に組み込まれず、ワクチンやそれによって作られるタンパク質が長期に体の中に残るとは考えにくいので、何年も後になって副反応が起こる可能性は低いと考えられています。

Q 接種後、症状が出る前から解熱鎮痛剤を服用しても大丈夫ですか？

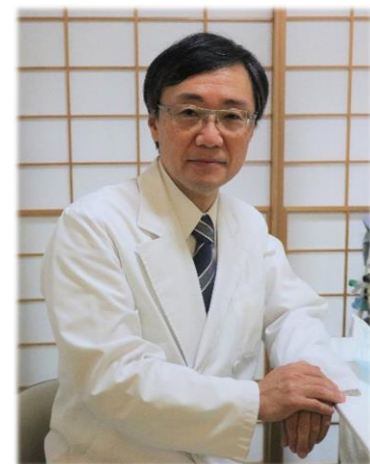
A ワクチンを受けた後、症状が出る前に解熱鎮痛剤を予防的に繰り返し内服することについては、現在のところ推奨されていません。

Q ワクチンを接種することで将来不妊になる心配はないですか？

A ワクチンが原因で不妊になるという科学的な根拠はありません。ワクチン接種により流産率は上がっておらず、妊娠しにくくなるという根拠も確認されていません。妊娠中、授乳中、妊娠を計画中的の方も、ワクチンを接種することができます。ワクチンが妊娠、胎児、母乳、生殖器等に悪影響を及ぼすという報告はありません。

Q 接種して遺伝子が組み変わることはないのか？

A 新型コロナワクチンを接種し、人の遺伝子に変化を起こすことはありません。



佐藤内科小児科医院
佐藤 靖 院長

「若者の皆さんへ コロナワクチンの意義」

あなたは自分が高齢者ではないから新型コロナ感染は軽症で済むと思っ
ていませんか？皆さんは「軽症」をどのようにイメージしているでしょうか。
新型コロナ感染ではひどい高熱と激しい咳が続いても低酸素血症がなければ「軽症」に分類されるため、実際には感染した人の不安や苦痛と「軽症」という医学用語の間には大きなギャップがあるのです。また、軽症でも嗅覚や味覚障害、疲労感などの後遺症のため以前の日常生活に戻れない人もいます。ワクチン接種は自分自身への新型コロナウイルスの感染や発症のリスクを減らし、重症化を防ぐとともに、同居家族や仕事の同僚など周囲の人を感染から守ることに貢献するのです。変異を繰り返しながら生き残っていく新型コロナウイルスと共存せざるを得ない今は若者の皆さんもワクチンを接種するメリットの方が大きいのではないのでしょうか？

～もし感染したら～

Q 新型コロナウイルス感染症には後遺症がありますか？

A 新型コロナウイルスに感染し、治療や療養が終わっても一部の症状が長引く人がいることが分かっています。(具体的な症状として、疲労感・倦怠感・息苦しさ・睡眠障害・思考力や集中力の低下・脱毛・筋力低下・頭痛・嗅覚味覚障害など)

Q 若い人は感染しても重症化しませんか？

A 日本国内でも、10歳未満の重症例や30代の死亡例が報告されています。大半が軽症で済んでいるとはいえ、38度を超えるような高熱を出し、せきが2週間続いても「軽症」に分類されます。「軽症」の言葉からくるイメージと実際に感染した人の苦しみは大きく異なります。

～厚生労働省／新型コロナワクチンQ&A・いま知っておきたい新型コロナワクチン・新型コロナウイルスに関するQ&Aより～

〈参考〉8/25時点での関川村の予約率(59歳以下) ※全体では63.1%の予約率

年代	対象者	予約数	割合	年代	対象者	予約数	割合
12～15歳	146	70	47.9%	16～19歳	156	112	71.8%
20～29歳	271	122	45.0%	30～39歳	326	171	52.5%
40～49歳	339	227	67.0%	50～59歳	409	337	82.4%



関川診療所
平田 丞 所長

Covid-19 予防の要となるコロナワクチン

Covid-19 第5波の猛威が止まりません。周知の如く重篤な呼吸器症状から時に生命が脅かされたり、治癒後も後遺症に悩まされることのある厄介なウイルス感染症であります。

コロナワクチンにはCovid-19の発症や無症状感染を予防する効果があります。また接種後に感染しても重症化を予防し(高齢者で半減)、接種者が増えることで未接種者が間接的に感染から守られる効果(集団免疫)も報告されています。仕組みが新しく歴史が浅いワクチンのため不安や心配もあり接種には慎重にならざるを得ませんが、接種後の副反応についてはそのほとんどが数日間で治まるものであり、Covid-19の予防の要であると考えます。

新型コロナワクチンの有効性

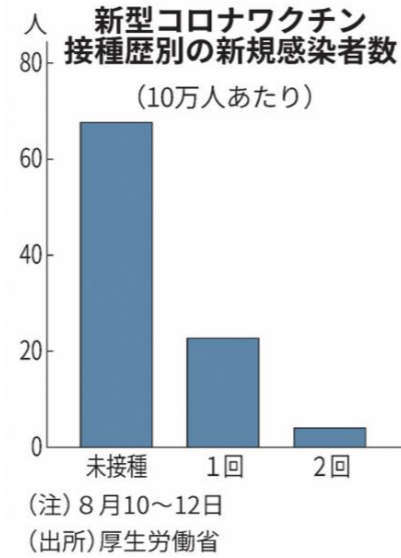
- 日本では7月末までに約92万人の方が新型コロナウイルス感染症と診断されています。これは全人口の約0.7%に相当します。
- 新型コロナワクチンは発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果も期待されています。

〈発症予防効果〉

- ・ファイザー社製ワクチン **約95%**
- ・モデルナ社製ワクチン **約94%**

(※いずれのワクチンも薬事承認前に、海外で発症予防効果を確認するための臨床試験が実施されています)

～厚生労働省／新型コロナワクチン Q&A より～



接種による副反応

- 接種後、体がワクチンに反応して、注射した部位の痛み・疲労・発熱・頭痛など全身性の反応が生じる可能性があります。

発現割合	症状	
	ファイザー社	モデルナ社
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛	接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛
10～50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ	関節痛、悪寒、吐き気、嘔吐、リンパ節症、発熱、接種部位の腫れ、発赤・紅斑
1～10%	吐き気、嘔吐	接種後7日以降の接種部位の痛みなど

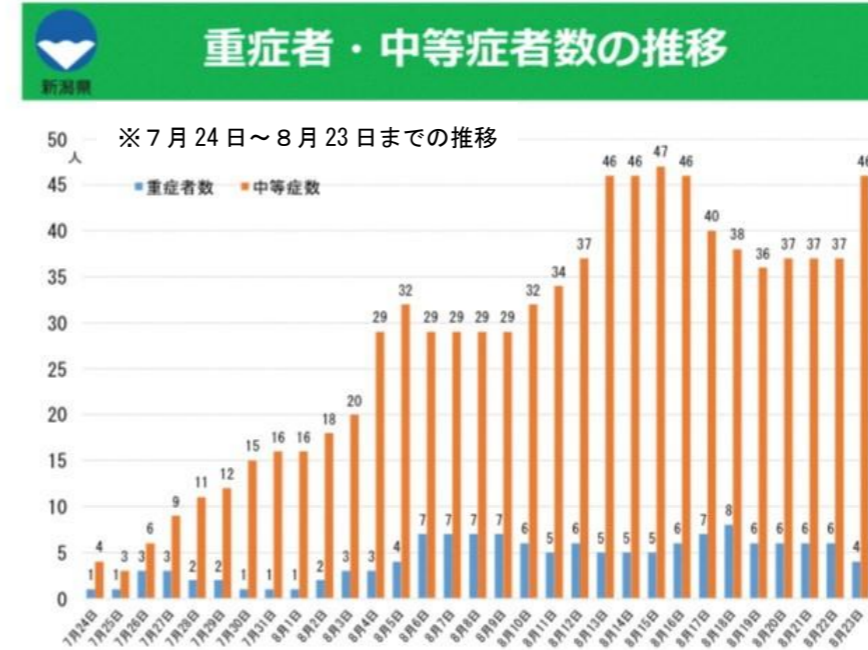
こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています

※ワクチン接種後の発熱や痛みがつけられれば、アセトアミノフェン、イブプロフェン、ロキソプロフェンなどの解熱鎮痛剤を使用しても問題ありません。妊婦さんや持病のある方は、主治医と相談してください。

～厚生労働省／新型コロナワクチン Q&A・いま知っておきたい新型コロナワクチンより～

医療体制のひっ迫

- 全国的に新型コロナウイルス感染症患者が増えている中、医療提供体制が非常に厳しい状況となっています。
- 新潟県においても、このまま新規感染者の増加が続けば、コロナ対応のみならず、医療全体の崩壊につながる可能性もあります。
- 新型コロナワクチン接種を行うことで、新規感染者の増加や重症化を抑え、医療のひっ迫を防ぐことができます。



〈参考〉新型コロナウイルス感染症の重症度

軽 症／明らかな肺炎なし、呼吸不全（低酸素血症）なし

中等症／肺炎・呼吸不全（低酸素血症）あり、必要に応じて酸素吸入が必要な状態

重 症／肺炎・呼吸不全のためICU入室、人工呼吸器装着が必要な状態

新型コロナワクチン接種を希望される方で、まだ予約が済んでいない方は、できるだけ早めに予約をお願いします。

〈予約はこちらから〉

<https://www.sekikawa-covid-yoyaku.com>



【問い合わせ】 関川村健康福祉課 健康推進班 TEL 64-1472

【予約に関すること】 役場コールセンター TEL 75-5667 (平日の9時～15時)